

1. Cinderella, R, Maxima をインストールする.

- <https://beta.cinderella.de> (Cinderella)
- <https://cran.r-project.org> (R)
- <https://sourceforge.net/projects/maxima/files> (Maxima)
 - ・ v5.38.0 以前の方が v5.40.0 以降より軽い.
- <https://www.sumatrapdfreader.org/download-free-pdf-viewer.html> (Sumatra)
 - 注) Sumatra は Windows だけである.

注) ダブルクリックして, 起動するかを確認する.

2. TeX をインストールしていない場合はインストールする.

(1) TeXLive を推奨

- ・ 2018 以降では ketcindy が既に入っている.

(2) KeTTeX は TeXLive の軽量版

- ・ kettex.exe を以下からダウンロードできる.
<https://www.dropbox.com/s/fthw4btjqqs33tc/kettex.exe?dl=0>
- ・ ダブルクリックしてできる kettex を C:\に入れる.

(3) 他の TeX の場合は, 3.(2) を参照する.

3. KeTCindy のインストール(1) ketcindy を CTAN(<https://ctan.org>) からダウンロードする.

ketcindy で検索 > Package ketcindy > download

注) 最新版は, Repository のサイト

<https://github.com/ket-pic/ketcindy>

から以下のようにダウンロードできる.

Clone or download > Download ZIP

この場合は, ketcindy-master になる.

注) 解凍してできるフォルダをデスクトップに移動する.

(2) ketcindy(-master)/forWindows を開く.

注) Windows10 の場合, セキュリティブロックを解除する.

右クリックして「プロパティ」>「セキュリティ」>「許可」

注) 他の TeX (TeXLive, W32tex 以外) を使っている場合

- ・ setketcindy.bat をテキストエディタで開く.
- ・ パスを修正する.

(3) 次のいずれかのバッチファイルを右クリック「管理者として実行」を選ぶ.

KeTTeX setketcindykettex.bat

TeXLive setketcindytexlive.bat

W32TeX setketcindyw32J.bat

他の TeX setketcindy.bat (要修正)

- ・ scripts の中身が TeX にコピーされる
- ・ ketcindy の style ファイルが TeX にコピーされ mktexlsr が実行される.
- ・ Cinderella の Plugins に KetcindyPlugin.jar がコピーされる.

- ・ Plugins に ketcindy.ini が作成される（作成または再作成を選んだ場合）.
- ・ タイプセットの方法（TeX の種類）
通常は， platex (p) または uplatex(u) を選ぶ.
- ・ R, Maxima では，バージョン番号（3.4.2, 5.37.3 など）を入れる.

(4) setwork.bat をダブルクリック

- ・ 作業ディレクトリ ketcindy がユーザホームに作成される.
- ・ ketcindy フォルダに work フォルダの中身がコピーされる.
- ・ .ketcindy.conf（編集可能）がユーザホームに作成される.
注） TeX を切り替えるときなどはこのファイルを修正する.
- ・ マニュアルもコピーされる.
- ・ 作業ディレクトリに ketcindy.conf の雛形がコピーされる.
- ・ KeTCindy を立ち上げたとき，設定ファイルは次の順に読み込まれる.
 - 1) ketoutset.txt
 - 2) ユーザホームの.ketcindy.conf
 - 3) 作業ディレクトリ ketcindy の ketcindy.conf

4. KeTCindy のテストラン

- (1) 作業ディレクトリ ketcindy を開く.
- (2) ketcindy の中の template1basic.cdy を選び，「情報を見る」を開く.
 - ・ アプリケーションが所定の Cinderella2 になっていることを確かめる.
 - ・ 「情報」を閉じて， template1basic.cdy をダブルクリックする.
 - ・ 画面に白い枠が出れば，ライブラリの読み込みは成功.
- (3) スクリーンの左上部にある Figure ボタンを押して，PDF が表示されれば成功.

注) PDF の表示後，ターミナル画面を閉じるようにするには

- ・ アプリケーション / ユーティリティ / ターミナルを開く
- ・ トップメニューから
ターミナル>環境設定 > (プロファイル) > シェル
「シェルが正常に終了した場合閉じる」を選択

注) インストール用の ketcindy(-master) フォルダは削除した方が混乱しない.

5. TeXworks の設定 (kettex の場合)

- ・ <https://github.com/TeXworks/TeXworks/releases/> からダウンロードできる.
- ・ TeXworks を立ち上げる
- ・ TeXworks > ファイル > 設定 > タイプセット
- ・ 上の欄（パス）に以下を追加
C:\kettex\texlive\bin\win32
注) 上の行を上欄の先頭になるように移動する.
- ・ 下の欄の横にある + をクリック
 - ・ 名前：uplatex(ptex2pdf) または platex(ptex2pdf)
 - ・ プログラム：ptex2pdf
 - ・ 引数：
 - u (uplatex の場合のみ)
 - l
 - ot
 - \$synctexoption
 - \$fullname

OK ボタンを押し、デフォルトを変更して OK ボタンを押し.

6. gcc のインストール

- ・ 曲面描画のためには, gcc が必要である.
- ・ minGW のホームページ <http://www.mingw.org> から
download > Install > mingw-get-setup.exe
をダウンロードして実行
注) パッケージは, mingw32-base, mingw32-gcc-g++だけでよい.

7. 手動でインストールする場合 (KeTTeX)

注) 他の TeX の場合は, 適宜パスを置き換える.

C:\kettex\texlive => C:\texlive\2018 など

- (1) ketcindy(-master)\ketcindyfolder を開いておく.
- (2) scripts フォルダの中身を以下にコピーする.
C:\kettex\texlive\texmf-dist\scripts\ketcindy
- (3) style フォルダの中身を以下にコピーする.
C:\kettex\texlive\texmf-dist\tex\latex\ketcindy
- (4) コマンドプロンプトで以下を実行する
C:\kettex\texlive\bin\win32\mktexlsr
- (5) C:\Program files\Cinderella2(.exe) をダブルクリック
- (6) メニューから 「スクリプト」 > 「プラグインを開く」を選び, Plugins フォルダを開く.
- (7) scripts\ketjava\KetCindyPlugin.jar を Plugins にコピーする.
- (8) ketcindy(-master)\forWindows\Forsettingmanually\ketcindy.ini を Plugins にコピーする.
注) 他の TeX の場合は, ketcindy.ini をテキストエディタで開いて修正する.
- (9) Pugins を閉じ, Cinderella2 を終了する.
- (10) work を適当な場所にコピーして, 名前を変更する.
注) 標準は パス: ユーザーホーム (の直下) 名前: ketcindy
- (11) 上の作業ディレクトリ (ketcindy) に doc\ketmanual のマニュアルをコピーする.
- (12) forWindows にある ketcindy.conf をテキストエディタで開き, 適宜修正する.
- (13) ユーザホームにコピーして, 名前を .ketcindy.conf に変える.